

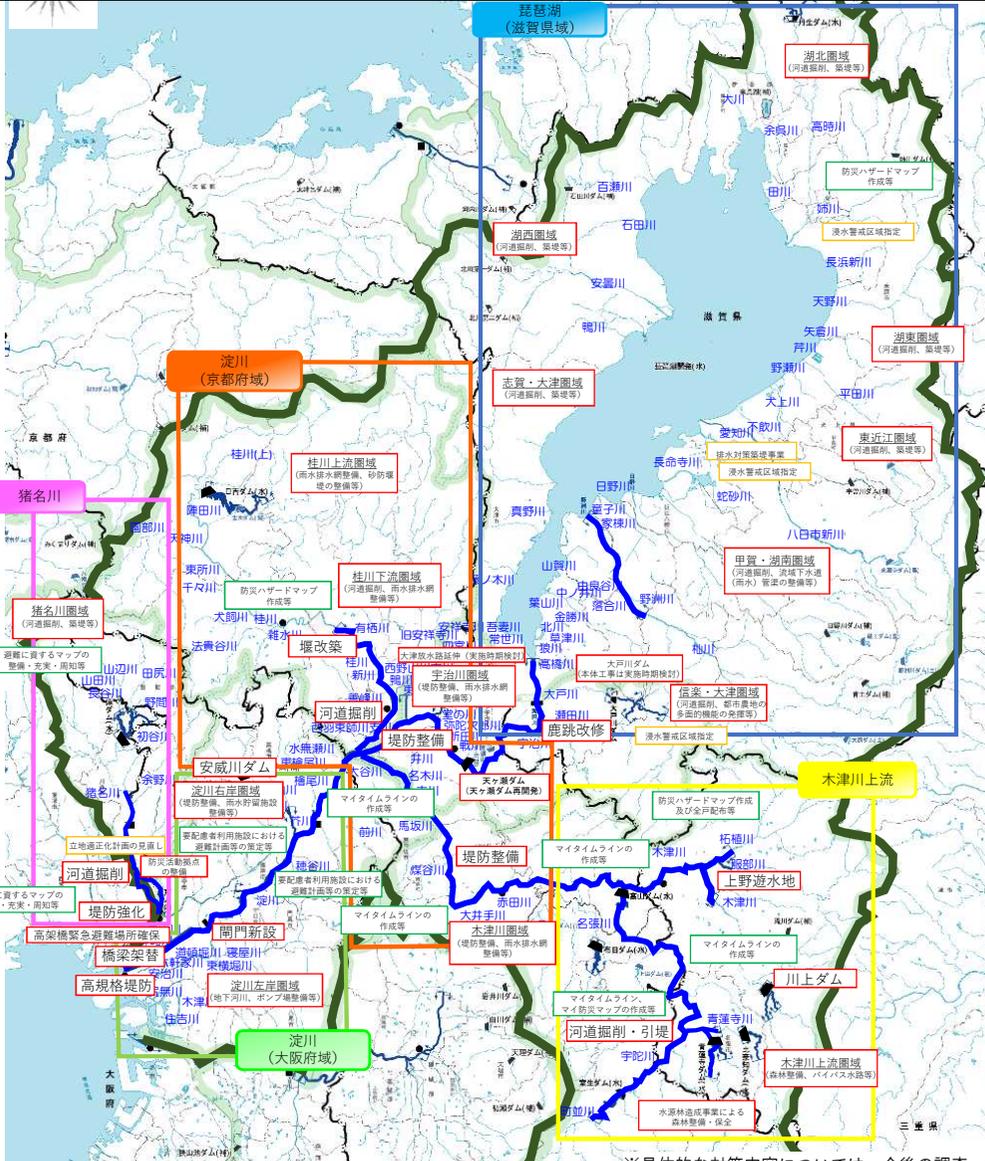
3.流域治水プロジェクト(2021年3月版)

淀川水系流域治水プロジェクト 【位置図】

【全体版】

～流域人口1,100万人の「淀川市民」の命を守る治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、淀川水系においても、下流部ではゼロメートル地帯が広がり、上流の宇治川・瀬田川、木津川、桂川においては、琵琶湖からの流出部をはじめ、岩倉狭、保津峡と呼ばれる狭窄部が存在し、猪名川においても銀橋周辺が狭窄部となっていることを踏まえ、上流域では、川上ダム建設や天ヶ瀬ダム開発等による洪水調節機能の向上を、下流域では、洪水の流れを阻害している阪神なんば線の架替等の事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、戦後最大規模の洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川掘削、河川拡幅、築堤、高規格堤防、天ヶ瀬ダム再開発、川上ダム、安威川ダム、上野遊水地、鹿跳改修、橋梁架替、地下河川、バイパス水路、堰改築、大戸川ダム（本体工事は実施時期検討）
- ・流域下水道（雨水）管渠の整備、公共下水道（雨水）管渠等の整備、雨水ポンプ増強
- ・雨水貯留浸透施設の整備、開発行為に伴う調整池の設置、ため池の治水利用
- ・利水ダム等25ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
（関係者：国、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、大阪府、三重県、水資源機構、土地改良区、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、奈良市、天理市、日野川用水施設管理協議会、甲賀市、宇陀市、関西電力（株）、山添村、大阪市、伊賀市、川西市、伊丹市、尼崎市、池田市、枚方市、大阪広域水道企業団、守口市、名張市、中部電力（株）、いぶき水力発電（株）、阪神水道企業団など）
- ・森林整備・保全のための治山対策等、砂防事業（堰堤）の推進による雨水・土砂・流木の流出抑制対策
- ・水源林造成事業による森林の整備・保全 ・高架橋緊急避難場所確保 等

●被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導
- ・建物等の耐水機能の確保・維持
- ・浸水範囲の限定・氾濫水位の制御 等

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備
- ・広域避難計画等の策定 ・マイ・タイムラインの作成
- ・要配慮者利用施設における避難計画等の策定及び避難訓練の実施
- ・「局地的豪雨探知システム」の利活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
- ・住宅再建共済制度への加入促進 等



※流域治水協議会には現時点で86機関が参加

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。各エリアの主な対策を記載しており、各エリアの詳細については、別途分会（詳細図）を参照してください。
※河川管理者の河川整備計画は、現時点では現行計画を基にプロジェクトに反映しますが、今後、河川整備計画の変更手続きを行う予定なので、変更された場合にはその内容を反映し得る。
※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

淀川水系流域治水プロジェクト 水系全体【ロードマップ・効果】【全体版】

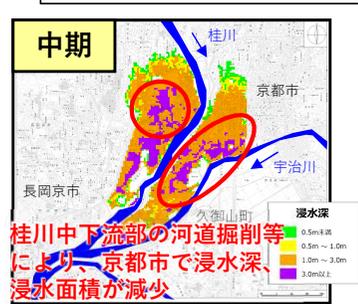
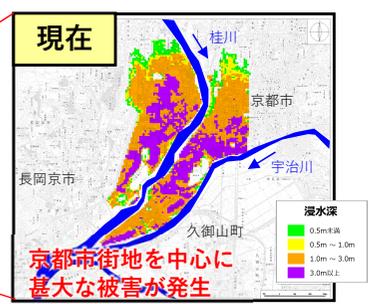
～流域人口1,100万人の「淀川市民」の命を守る治水対策の推進～

- 淀川水系では治水安全度の著しく低い桂川の河道掘削等を推進しつつ、淀川本川も含めて全川の水位を下げる川上ダム建設や天ヶ瀬ダム開発等による洪水調節機能の向上や本川の水位を低下させる阪神なんば線の架替を進め、本川の治水安全度を堅持しつつ、中上流部の治水安全度の向上を図る。また、大阪都市圏を抱える下流においては、近年頻発する超過洪水への対応や避難高台等にも活用できる高規格堤防の整備を推進し、水害リスクの軽減を図る。
- 【短期】 川上ダム建設や天ヶ瀬ダム開発等により淀川本川の流量低減対策を推進し、中上流部の河川改修を推進する。下流部では堤防強化や高規格堤防整備事業による質的強化を図る。あわせて、下水道整備による浸水対策や流出抑制対策（雨水貯留施設等）、立地適正化計画の見直し・策定による土地利用誘導の被害対象を減少させるための対策を実施。
- 【中期】 阪神なんば線架替事業を完成させるとともに、中上流部の河川改修の推進と高規格堤防整備事業の推進を図る。あわせて、下水道整備による浸水対策や流出抑制対策（雨水貯留施設等）、避難に資するマップ等の整備・充実・周知等のソフト対策を実施。
- 【長期】 中上流部の河川改修の推進と高規格堤防整備事業の推進を図る。あわせて、下水道整備による浸水対策や流出抑制対策（雨水貯留施設等）、避難に資するマップ等の更なる充実・周知等のソフト対策を実施。

| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 工程 | | |
|---------------------|----------------------|----------------|--|---|---------------------|
| | | | 短期 | 中期 | 長期 |
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 堤防整備・河道掘削・橋梁架替等 | 国土交通省、流域府県市町村等 | 川上ダム完成(水資源機構) | 名張引堤1期完成(国土交通省) | 阪神なんば線橋梁架替完成(国土交通省) |
| | ダム建設 | 水資源機構大阪府等 | 安威川ダム完成(大阪府) | JR高槻駅北雨水貯留施設整備完成(高槻市) 楠葉排水区雨水貯留管等整備完成(枚方市) | |
| | 流出抑制対策(調整池・ため池等) | 高槻市、枚方市等 | | | |
| | 流域下水道(雨水)管渠の整備・老朽化対策 | 流域府県市町村等 | | | |
| | 砂防堰堤による土砂等の流出抑制対策 | 国土交通省、流域府県市町村等 | | | |
| 被害対象を減少させるための対策 | 立地適正化計画策定等 | 長岡京市、豊中市、高槻市等 | 立地適正化計画の見直し(豊中市) 居住誘導区域見直し及び防災指針策定(高槻市) | 立地適正化計画の策定(長岡京市) | |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 避難に資するマップ等の整備・充実・周知 | 国土交通省、流域府県市町村等 | 要配慮者利用施設の避難確保計画策定(枚方市、京田辺市) | SOS避難メソッド等を掲載した防災ブック作成(摂津市) | |

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



長期

浸水被害解消

※直轄管理区間において、戦後最大洪水(昭和28年)と同規模の洪水が発生した場合の氾濫想定範囲